



湖西市議会

広報広聴特別委員会第2分科会

広報広聴第2分科会の役割

- **議会報告会**（議会基本条例 第8条）
開催方法、報告のあり方について調査研究
※今期の実務については実行委員会が企画運営を行う

- **高校生との意見交換**（企画・運営 実務を担う）

議会報告会

令和3・4年度の活動

議会報告会

早稲田大学マニフェスト研究所
上位ランキングの近隣議会を調査

■愛知県岩倉市：令和3年11月8日



■愛知県知立市：令和4年3月28日



■愛知県新城市：令和4年5月9日



■長野県飯田市：令和4年10月5日



■静岡県菊川市：令和4年10月19日



議会報告会先進地視察まとめ

議会報告会に関する先進地調査のまとめ

広報広聴特別委員会(第2分科会)

自治体名	酒田市	知立市	新城市	飯田市	菊川市			
事前調査担当	橋	菅沼	高柳	竹内	加藤			
事前調査でのポイント	<ul style="list-style-type: none"> 予算(2月ー議会の前)、決算(10月)をテーマとしている 市議会サポーターの導入 相手の都合に合わせた会場/時間設定 参加者からの意見に対し、議会としての対応をまとめ、行政からの回答は求めない(行政のタウンミーティングとのパッチング回避のため) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内3高校と「高校生議会」 高校生議会後、参加高校から陳情が提出された 	<ul style="list-style-type: none"> 女性参加者も多い 随選で視察した東村山市の運営を参考にしている 参加者の発言内容の仕分けをしている 	<ul style="list-style-type: none"> 多数の参加者 ウェブサイト資料掲載、事前に勉強できる FMラジオ等あらゆる手段で広報 まちづくり委員会との共催 龍谷大学土山教授のアドバイス 小学校への出前講座実施 	<ul style="list-style-type: none"> 半年前からテーマを検討、勉強 多数の参加者、参加できなかった人向けにも開催 開催後、議長名で視察へ提言書提出(回答あり) 早大マニ研ランク県内3位を誇りに頑張っている 			
オンライン/開催日	R3.11.8	R4.3.28	R4.5.9	R4.10.5	R4.10.19			
質問・回答	議会報告会	高校生議会	議会報告会	議会報告会	議会報告会			
	テーマ選定		<ul style="list-style-type: none"> 選挙権年齢の引き下げで政治が身近となった高校生に地方自治への関心を高めてもらい、高校生の視点からまちづくりについて意見を聞き、「協議する」場 形式にとらわれず、意見を政策提言にまとめていくことを目的 		<ul style="list-style-type: none"> 地域自治体制度(新城市を10地区に分割)を採用 各地区の出身議員がその地区の地域協議会長や行政長官を通じて地域課題(テーマ)を出してもらい、議会報告会に臨む 各地区の出身議員がその地区の課題を拾ってくる担当 担当議員は随選で割り当て 	<ul style="list-style-type: none"> 自治会との連携 地域自治体(市内20地区)の任意組織であるまちづくり委員会と議会が連携、共催 市内各地区の「自治振興センター」に従事する行政職員が議会と地域住民とのインターフェースとなっている 	<ul style="list-style-type: none"> 企画委員会について 各常任委員会から選出した7名で構成、通年で活動 スケジュール決定、テーマ選定、資料作成のほか、報告会当日の運営、報告の取りまとめを担当 	
	集客の工夫		<ul style="list-style-type: none"> 自治会への回覧通知、駅でのポスター配布 議員による勧誘は行わない 相手の都合に合わせる 若年層と食事しながら意見交換「おむすびトーク」(高校生・大学生)、外国人ママと団子を作りながら意見交換「おだんごトーク」、会場は商業施設 		<ul style="list-style-type: none"> 正副議長以外の18名の全議員を6名ずつ3校に割り振り、学校と調整・協議 基本的な内容はプロジェクトチームで決め、そのチームのメンバーを2名ずつ3校に配置 各校で特色があり、各校の独自性を尊重、担当議員がそれに見合った進め方をした(議長の仕方、まとめ方は学校と担当議員とで協議) 生徒の選出は学校に一任 	<ul style="list-style-type: none"> 住民の関心の高いテーマには参加者が集まる傾向 R1は15%の女性参加 H24~25は平日夜開催のみだったが、女性や青年層の出席しやすさを狙いH26~土曜日午後開催を開始 	<ul style="list-style-type: none"> 龍谷大・土山教授のアドバイス 必要に応じて相談、アドバイスを受けている(議会報告会に限らず) 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ選定 企画委員会内で協議し決定。前年度の常任委員会の研究事項や政策討論会(全議員による意見交換の場)で市に提言を行った事項をテーマとしている
	広報(議員個人SNSの効果など)		<ul style="list-style-type: none"> SNSはあくまで議員個人の責任で発信、効果は確認できない 市公式LINEの活用を協議中 中日新聞折込(MOVE-IT)に掲載 		<ul style="list-style-type: none"> 挨拶ー正副議長、各校担当議員は委員会に同席、生徒が議論しやすい環境づくりを心がけた 議員と生徒との歩み寄り3回実施、生徒の意見を尊重、議員はあまり立ち入らずアドバイス程度 議員が前面に出ない、質問の投げ掛け、緊張を解す会話等を心がけた 高校によっては担当教諭との事前打ち合わせをメール・電話・対面で複数実施 	<ul style="list-style-type: none"> 全体時間は1時間半(報告30分・意見交換60分) 参加者との意見交換 	<ul style="list-style-type: none"> 集客的工夫 まちづくり委員会による勧誘もあるが、高校生や各種団体等、テーマに沿った相手への声掛けや指名もやっている 参加者がメリットを感じられる内容(土山教授からのアドバイス) 	<ul style="list-style-type: none"> 意見の反映 議会での決算審査終了後に常任委員会からの意見をまとめ、予算に反映されるよう提言書として市長へ提出
	取り扱い		<ul style="list-style-type: none"> 市民の意見の反映ーまだない 行政のタウンミーティングとの差別化は特に行っていない 市民の意見を委員会代表質問で確認、政策提言までは至っていない 事務事業評価については現在研究中、R3から外部評価スタート 		<ul style="list-style-type: none"> 代表質問の質問項目の選定・作成方法 事前に考えられてきたテーマを複数してもらい、委員の質問でテーマを選定 参加する各委員会役員と協定する議会を学校が実施してくれ、スムーズだった テーマについて質問から問題意識あり、質問等が早い段階でまとまった プレッシャーを感じていない生徒に向けリハのりや議場見学を奨励ー本番はリハックスでき、よりよい提言ができるように学校から応援 高校側も議会のやりかたにも興味あるようで、4月から5つのグループに分かれて研究を進め、5月中旬にテーマを議会に提出、5月下旬に常任委員へ審議で質問(回答、7月に担当議員が学校訪問、各グループの提言を聞き、その後担当議員が協議してテーマを1つ選出 	<ul style="list-style-type: none"> グループワーク 議員が各テーブルに付いてファシリテーターとなり、声の大きい人ばかり発言するのを制御 議員のファシリテーションが重要 	<ul style="list-style-type: none"> テーマ選定 まちづくり委員会と事前協議 常任委員会の調査研究テーマ 市民に確認したい事項をテーマにしている 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者の傾向 地区へは自治会を中心に回覧で案内しているため、役員への参加が多く、どこの会場でも50代以上の男性が8~9割を占める 団体への参加依頼(PTA等) 若年層の参加が課題
議会サポーター	<ul style="list-style-type: none"> 維持、継続が課題 議会内市民参加チームであり方検討中 無作為抽出と公募、30~80代 	-	<ul style="list-style-type: none"> 意見の反映 アウトプットをきちんと行っている(予算要望、意見書、県への要望など) 	<ul style="list-style-type: none"> 政策提言への結び付け 分科会(常任委員会)ごとに意見交換で出された意見を調査研究、議会全体で共有、予算・決算も含め政策提言に結び付ける 議会報告会に限らず、市民からの意見を反映させる政策サイクルが機能している 	<ul style="list-style-type: none"> 集客的工夫 全体会は土曜日の午前中に開催 市内幼保・小中学校保護者会への参加案内 託児サービス Facebookでの広報に力を入れている 			

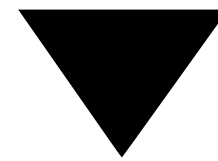
議会報告会における課題

集客の工夫

開催日時

開催会場

- 予算・決算審査サイクルとリンク(議会活動推進特別委員会)
- 開催時期→4・5月は予算が決定している



開催は10月ー11月/年1回

市内全てのエリア（9会場）で実施が必要

意見交換

テーマの選定

意見交換の方法

- 議員個人の意見ではなく、議会の総意として回答すべき
 - > テーマは**常任委員会で協議**→想定質問まで
- 意見交換はグループワーク形式で実施（付箋活用）

議員のファシリテーション能力の向上が必要

議会報告会への提言

湖西市議会議会報告会開催要綱改正

旧	新
<p>(報告会開催計画書)</p> <p>第5条 実行委員会は、報告会の開催に当たり、次に掲げる事項を記載した報告会開催計画書を作成するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 開催スケジュール(2) 議員の役割分担(3) 周知の方法(4) 前3号に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項	<p>(報告会開催計画書)</p> <p>第5条 実行委員会は、報告会の開催に当たり、次に掲げる事項を記載した報告会開催計画書を作成するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 開催スケジュール(2) 議員の役割分担<ul style="list-style-type: none">-1 <u>報告と意見交換の内容は常任委員会で協議する</u>(3) 周知の方法(4) 前3号に掲げるもののほか、委員長が必要と認める事項
<p>別表（開催時期）</p> <p>おおむね</p> <p>春 4月～5月</p> <p>秋 10月～11月</p> <p>を目安とする</p>	<p>別表（開催時期）</p> <p>10月～11月</p>